聽を蒐める萬

國經

濟會議

世界和維持增進さ 經濟不况打開に協力を惜まぬ

東京十二日發國通) 如く語った 外務省當局は經濟會議に對する帝國政府の態度につき十 帝國政府の態度

見地より観て等處するこさをの断行は、困難だが、大局的開催し、協議の結果。印棉不賞

在端紡績同業會緊急委員會を【大阪十二日發衂消】十二日

の申台せ

在華紡績同業會

を確立する必要があり、総税の低下、通商貿易の自由を阻害する一切のものをけの協力を惜まれものである、即ち右の目的の爲には世界の通商自由の原則にる如く、帝國政府は世界平和の維持增進と經濟不况の打開の爲に出來るだ煥發された詔勅と、最近米國大統領の平和保障提議に對する回答に明示され國際會議に對する我國の態度に就いては、去る三月廿七日聯盟脫退に際して國際會議に對する我國の態度に就いては、去る三月廿七日聯盟脫退に際して 撤廢することに努力する筈である。 基き我國の立場を强調する積りである のみならず、 が起るも、 非公式に次の 此等の問題に對しては我國獨自の立場に於て何れ 軍縮戦債其他の平和保障に關する國際條 障に關する國際條 締結問題等種々の問然し乍ら會議では單に通貨經濟等の問題

紡聯の立場を諒さして菩處 の製品の日本輸出に際し、 在華紡績業界各社は、そ

出張中でかつた久末新京輸入低利資金問題に関し、大連へ

理事歸京談

日英印の三業者

協議會開催說有力

り總年十二緊へ

が、確開するに英國さしてもが、確開するに英國さしても大體日本の掲録した諸點を含大體日本の掲録した諸點を含

立場で協語するこさに賛成の

説は止むを得り處置さ認む。紡績聯合會の印棉不買决

たの申合せをなした

經濟會議 壽府では早くも悲觀 の成果に

ーヴを去つてロンドンに移つにジュキーヴ十二日酸酸明ン 留中の各國政治家は過去一年た愿があるが、常期に尙怪在

經濟會議中 爲替紳士協定成立か 爲替急變防止の爲め

青錦を中心にロンドン

に衝動を起してゐる 二日中脳者會議を開催し、左 業績物同業組合聯合會さ日木輪出棉 同業組合聯合會さ日木輪出棉 態度に出れば、自衛上全英英政府が全般的日本品排撃

羊毛、小麥、

全英の 羊毛、小麥、鐵等 ふべし

乗問題交渉の爲日印通商條的廢

や外使さ決定、澤田公使は固 いる。川島氏の任命は十三日 の閣議を終て正式養表の豫定 である を派遣 (東京十二日養國領) 通商係 (東京十二日養國領) 通商係 近く松平大使に手交される運工の公外では近くランカシャの有力な棉は近くランカシャの有力な棉は近くランカシャの有力な棉ま者は顕音観観に對けるランシマン前相の復答は

質質的には効果な 下げ聲明 は抗日氏衆同盟樋可令を辟て北半十二日養衄通〕馮玉

國政府の

毛織物の不質斷行を行

割引

印棉の短規購買を中止する

集を清載し、庫倫を由過。張 ・天津十二日最貞明 選、 ・大津十二日最貞明 選をなした

ト野通電を發す

の重大變化は太平洋上の二大民主義政府の對極東外交方針 されることとなった。

十五百七千三第

北鐵買收に對する

まで効力を有するものに

態度决定を急ぐ

協定を結ぶ方針である

アメリカ大統領ルーズヴェルト氏がソヴィユート ロシアを含む五十餘夕竭の元首に宛世界平和保障に闘する際明書を観した四週間前の零割に比すれば今日の極東の事態は止すれば今日の極東の事態は止

著しく重著しいものにしてる 招來されんごしてゐるのであ おルーズヴェルト大統領が世 のよーズヴェルト大統領が世

後各蔵さ個別的に互惠を後各蔵さ個別的に互惠をは解税引下け問題

ソ聯が種々の注义

决議案

本日の委員

(A) ルーズヴェ

ルト石井共同

徹な變動なきやう為神神士協 調の開催中為替及び通貨の急 映銀行家の談さして。經濟會 中銀行家の談さして。經濟會

(中京十二日菱図番) 出郷駐 総カーズベルト大統領は臨時 が大使菱の外務省公電によれ 米大使菱の外務省公電によれ ・ 大統領は臨時

観測によるミアメリカ政府は 関的な效果なき際で米官選の 関的な效果なき際で米官選の

展開された

極東の新事態に就て

經濟問題に関し茶罐を遂け

北酸買收問題に對しては大橋 いでるるが同間題を政治問 を考慮して関方偏重に討論が は同ほ数日を要するものき観 を考慮してはこが対象 に間間をを折込まんさする腹 には依然變化なく、之に反 は同じ数日を要するものき観 を考慮して関方偏重に討論が を考慮して関方偏重に討論が を考慮して関方偏重に討論が を考慮して関方偏重に討論が を考慮して関方偏重に討論が を考慮して関方偏重に討論が を考慮して関方偏重に討論が を考慮して関方偏重に討論が といいました。

「大阪十二日酸製油」紡績卵の次、十三日財催の協議者の次 設案を決定した

(C)日隣際三波委員會の成立 の可能性が一段三濃厚になつ たこさ三つの主要原因を基調 たこさ三つの主要原因を基調

宋哲元を察哈爾等 省首席に推す

ノ聯ビの

北平軍事分會 一段落ち共に軍事分會は出 連絡を否認 各軍原地歸 還を命ず

動中の各軍に原地誘致婦選を 命じたが、蓄東北軍は各鐵道 の子標忠軍を北寧沿線に、 萬 福崎軍は平綏線に、 何柱匈軍 は津浦線に配備するこさにな

(北平十二日酸減通) 山西省 は民國十七年より今日まで天 災飢饉に連年追はれてゐたが 昨十一日北平紅卍音視察園は よる三同省中二十四縣は全く よる三同省中二十四縣は全く 安維持の確立に努力し反蔣 對外衝突は極力之を避け 驚討伐に力を撒し無用なるに承認する(2)午後は共産 ざるものさして之を全部的

(4)属民職全國大會の開會 は來る十一月十二日迄延期 しそれ迄に各種内吸。外交 上の諸問題を處理解決し來 るべきロンドン會議の勢を るだきロンドン會議の勢を 運動防壓を緊急事ごする 「神戸十二日發國通」川崎造船所で建造中の頭洲國の大型 簡偏に進水式を単行した、 商舟風の姉妹艦詢龍並に中型 登備艦海華の進水式は都合に 船海鳳の 满洲國警備 進水式盛大に 擧行さる

案方法等に就ては石井全權の て之が問題の提案時期其他提 での成立する方針だ。而し 立場を披瀝し、特に支那の水 お問題に動する我 裁量に委す事さなつてる イコット問題に就ては國際的 久末輸入組合 京組

十四日の幹部會で 鈴木總裁裁斷 昨日緊急總務會を開き決定

「東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない、東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない、東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない、東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない、東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない、東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない、東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない。東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない。東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない。東京十二日登園頭」幹木總 幹部會で發表されるこことない。東京十二日登園頭」 は。歸京以來鑑內代:政容

會見後に 宇垣總督語る

迎境方面の警備については 瀧川教授問題で 文部當局の

態度並硬

鮮人の講洲移住は九年度か特に増兵の必要を認めない 山西大飢饉に

三井出張所長

中山氏入院

政府の怠漫を責む 貧氏救濟に紅卍會活躍

その日く

等符合額にも望みをかけず。 の日本拘束力のなかつたのさ の日本拘束力のなかつたのさ 外務常局、萬國經濟會職に世 外務常局、萬國經濟會職に世

政府になめられた後また何が一般裁十四日に裁断を下す。と政友會の急進。自重の内紛さ

オル、順扇等のサービスでも一端観暑中列車にお茶。むしま つの往文はボートの親切! 人事往來 大豆

經濟會議に 經濟ボイコット禁止案を提議

ピン、吉林へ新京輸人組合今回大連へ行つたのばハル 台班事は十二日午前八時歸

(東京十三日綾阙浦) 帝紀政 時期方法は

をならう。何れにしても所 要員會で割累額を定める事 要員會で割累額を定める事 要員會で割累額を定める事 の支部を置くのでこれに仲 をから金融委員者を作り。同 をの制象額は決らない、こ の支部を置くのでこれに仲 をのもの意味の變更相互間の から金融委員者を作り。同 をのものをいる。同 をなるう。何れにしても所

す委員會は常任委員歌名を の措置は聯合委員會に一任 の措置は聯合委員會に一任

取引高を聯合會に国出す十三日現在の即橋負付契

地方治安

新 備並に地方治々の確立が中心 諸國さなつており、當然豫想 禁 明に於ける匪賊對策、避消警 れるもさの観らる は十三日午後二時より軍司令 賊の跳梁を未顧に防止せんご 日端委員出席の下に開催され に討議が行はれ、必要に應じるが、今次の會議は高梁繁茂 ては第三第四次の會合が開か 開並に地方治々の確立が中心 議園さなつており、當然豫想 禁

徹底を期し 中央治安維持曾第二回委員會

一二日軍司令部で

荒木陸相訪問

0

るから四十萬圓以上の割當

林を包含する事さなつてる

6相常集團的に之を實現さ

統制問題等には全然隔れな 十三日午前八時四十分ハル十三日午前八時四十分ハル

十三日午前八時四十分ハルドニ日午前八時平月十三日午前八時四十分ハルー・一十三日午前八時四十分ハルー・一十三日午前八時来京(一十三日午前八時来京)同上一十二日午前日上一十三日午前日上一十三日午前日上 前田大佐(野砲第OO隊) 十三8年前八時三十分吉林

▲小松少佐(陸軍省軍務局) 最)十二日午後三時二十五 長)十二日午後三時二十五

警備問題等で意見交換 閣僚引揚げは不可能 た、宇垣總督は十八日頃離京 防上の見地より種々協議を遂 防上の見地より種々協議を遂 旅 十一隊長)十二日午後 本字能氏(張家麟警備第四 本字を能氏(張家麟警備第四 本字を能氏(張家麟警備第四 十一隊長)十二日午後

鈴木總裁の裁斷に

政府側は樂觀

△戸倉惣太郎氏(帝朝大興重

◇戸倉惣太郎氏(帝朝大興重

◇院奉天省寳業職長十二日來

京朝邓本テル

村憲兵大尉

意志大計は全国等天附るまか 問題等に敏腕を謳はれた城内 問題等に敏腕を謳はれた城内 の墓地は轉

海外經濟 濟機

錦州分隊長が決定してゐる。本日赴任の筈、尚後任は富田、は長に榮物することになり、

五三一十九七現 月月月日 ● 綿 中吸限限限限物米

三三省北 十九九九九九九 山仙仙仙山仙仙 三九<u>久大</u>空亳翌

サール・カート 中国 (10年) 大学 (10年) (第一回 ▲上海日

第二回 新京市次 出來高物

▲野口多內氏(奉天居留氏會長)十三日午旬九時南行長)十三日午旬九時南行

ボヴェルト・ドクトリンも亦思念を多分に抱かしめ、ルー 思念を多分に抱かしめ、ルー のたこ云ム際であつた賃該働せしめ支那単に應戦中で た所謂日米豫備會商はそ

感情に絶大の好感を齎らした し動する親愛の表示が感情の のに動する親愛の表示が感情の の間の郷重なるさした

はこの米支共同堅明に於て日

よい語子を安心

買へる店

関扇等のサー

満鐵の列車サービスに對し

旅客何れも大滿足

たゝきを備付けてゐるが、非常に好評を博してゐるに、本文ととなる。 ないない 非常に好評を博してゐる には 事にお茶、 ムシタオルを出す外、 團扇、蠅にたきを備付け、二等 車 には 瀟黴では最近の暑さに對する旅客のサービスの一つとして十日より 一

り行賞され。臨時賞與を支給されることとなつた

虚に納めた雷管

禰鐵線貨物列車の

即ち去る五月十九日四年街。の如き盗離事件が優先した。

州年記念祭

十五日青山で

ものである

ある通知を受けた乗務車掌中別条に開発四十九號貨物列車が新京間第四十九號貨物列車が

「東京十二日麓認通」常陸丸 ・ 大田 は、その記念日に引 ・ 大田 は、その記念日に引

貨物拔取犯

大膽極まる彼等の犯行

に侵入、貨物を編取り再び貨に侵入、貨物を編取り再び貨に良多を図で開雇し、貨車内に侵入、貨物を編取り再び貨

南部屋上を後部より入念に點車が置に頗々たる盗難。被害 車が置に頗々たる盗難。被害

大格鬪

の末捕はる

から地方事務所長望において協議するここになった

委員會情况報告の件

七。その他

闘する件

人本格的活動に入るわけで

最近學行せらるべき主なる一、聯盟結成以來の行事並に

那事會を來る十五日午後二時 しくしやうさいふので最初の しくしやうさいふので最初の をいよく 圓 いに、且つ花々

組强盜團

新京署池水刑事の殊勳

孫吉林(一七)の六名は五月七) 陳興安(二五)李振煕(三二) ロ専門の不温分子であるが、 所不定の苦力連で従來貨物ド 所不定の苦力連で従來貨物ド での苦力連び、山東の産、住 では、 は、 は、 の本に検事された

て移動常習的に敢行してゐた。 運送中の貨物竊取を專門さし 有蓋並に無蓋貨車に飛乗り、 るた齊樹魁等を共謀、新京よ 四年街に至る各驛間に於

大豆 十九袋 時間百十四國

五百七千 大豆五饭 大豆 十五袋 時價七十五圓 三月十六日 廿五圓

統裁 三箱 七十大圆 統裁 三箱 七十大圆 大豆廿六袋 絹布 二箱 見積價千五五圓 四月二日 四月二十日 楊木林 四平街 百卅五 はりも多く一入北里夫んである。 本務所、十三日は輝、各は、病 事務所、十三日は輝、各は、病 で、地方事務所等高色のボー ナス袋を嬉しるうに、思つた まのた

(E)

大豆 四级 世四圓

満鐵ボ

たよりも重い

大豆 大袋

後 時價四十二圓

ホクホク

中上・攀全の貨物を纏取投下 のペンチー個及麻縄二本へ一 がペンチー個及麻縄二本へ一 を用意原縄二本へ一

に件数左の如し

貨車には其後部乗降用梯より配に於て速力部漫なるを奇貨 行中の貨物列車が線路上の もので、其の犯行手口が従來彼等の犯行は實に勇敢機敏な

鄧鐵梅部下 三名を逮捕 大連沙河口署の功名

(二三) 数念(四五)劉誠實の三名を懷華取調中の處正した。三名は三角地帶さ、山板等にロシャ町海岸よりの当然等にロシャ町海岸よりの地接等にロシャ町海岸よりの地接等にロシャ町海岸よりの地接等にロシャ町海岸よりの地接等にロシャ町海岸よりの地域等にロシャ町海岸よりの地域がある。 街方面に潜 伏して 居た 羅女

さの思ひがけなくたつより重 の断行に涙をのんだのも昔の の断行に涙をのんだのも昔の 熱狂的歓迎裡に 奉天十二日最級通り過ぐる 奉天十二日最級通り過ぐる 服部々隊

味を檢學、其取餬べにより、努力によつて、消穀犯人の一勢力によって、消穀犯人の一 新京僧道事務所では沿線各等車の答離事故輸出、特に四月車の答離事故輸出、特に四月 **耐策犯人検摩に苦心してゐ** 祭さも協力して、これが防 に大膽不飲な貨物ドロの正 ロー味の中。柴袋(三 、 五月五日 右同所

は都度新京北門外のサ糧後成(□二六) 邸清(□二) 范邁臣(□二六) 邸清(□二) 范邁臣 あるが、彼等は未檢學の趙榮以上の如く被害は買り莫大で 難品の大部分は幸に回收さ 絹布 二帕} 時價三千三日五十圓 笠町四丁目女具店李怡傑氏方去る九日午前一時ごろ市内コー

取調べ中であるが、これ等一を襲つた頻変犯人の一味中一名は既報の如く新京署谷口刑を明の事に逮捕され目下同署での手に逮捕され目下同署で に潜伏してるるを共犯捜査中 前科五犯史施山(三)が西三街 出没し强盗を働いてるた保盗

二日年前十寺ごうとりまる。 を押取するささ**る**に史の一味 類ひ大格闘の未遂捕し、プロー日午前十時ごろ史の職家を 五名の曜家を鎖ひ一網打搬に 李青陽(二〇)高俊峯(五〇)

門地へ凱旋する事さなり、本 日支停戦交渉に依り懐かしの 日支停戦交渉に依り懐かしの 日支停戦交渉に依り懐かしの ひ午後三時驛前を出産し、東北的歓迎裡に山海陽より奉天に凱旋した。右凱旋那除は驛に側海陽より奉天 拂つて暴戻な支那軍 北大學の宿舍に入った

流行小唄と舞踊の夕

ム今夜限り

教育中の 意兵補は頗る

表る一日間東憲兵隊司令部で 東東した憲兵補二十名は目下 城内分隊で中館中は単課、午 域に教訓、何れる潑剌たる元 気で魅井少尉以下下士官教師 の薫陶を受けてゐるが、その 全部が中等単校卒業以上の者

等會見申込む 市川、三田村、高橋 鍋山に **盛のソブラノが送番もありア中野氏のテイル、淡谷のり子**

に土牛氏の 日に出頭する。

「東京十二日養婦通」共産議務所を訪問した野・鍋山の意見の問題ひなるは判つてゐる見の問題ひなるは判つてゐる がはるま

好成績 日午後七時から長春座で開催 編子、中野忠崎氏等出演の「流 は十二 けか明さ舞踊のタベ」は十二

華美なものであった開育を付 大生書見氏の司會の群があっ 大生書見氏の司會の群があっ 大生書見氏の司會の群があっ 大力ムに多少前後はあったが グラムに多少前後はあったが 華美なものであった開演を促 で美々しく で美々しく 面から此一行に ・立関、舞台等は各方

野、淡谷南人の日本網民歌の 一合旧 1日を終つ 1日を終つ びであつた、斯くて最後に中に應ずるので觀栄は大よろこ 後一時から新京衛戍病院を訪十三日は鼠科の通り一行は午 なくては承知せず、花柳また拍手を浴せ二度。三度踊らせ

の総讃を博したのは花柳霽诵の総讃を博したのは花柳霽诵 會場―長春座午後七時から に舞台に眺め入り踊がすんで - 恍惚にらしめ、息もつかずれた至蘇は完全に観衆を魅了 子の新苔舞踊數番その洗練さ 引下 6 うごするご 萬雷の如き

一髪更 を加へられないが、何れも観のがし聴きないが、何れも観のがし聴き 役所より今朝二時十分出火し(東京十二日發認識)新潟市 新潟市役所

谷時

第三人五四番 店

【大連十三日数滅通】日本財界の巨頭王子製紙の職原銀次郎氏は三社員を帶同十三日大郎人港のうすりる丸で素績したが、船中庁の如く語る
全回は新京窓行つて事業を起すに続いての参考資料を起すに続いての参考資料を 原因は、漏電、損害は十萬圓 氏來滿 藤原銀次郎 =

告

水量不足/為左記二使罗區域別時間給水資施致候間此段 本學町 老松町 八島迪一里 朝日蓮一帶(含:領 東線町 老松町 八島迪一里 朝日蓮一帶(含:領 東線町 老松町 八島迪一里 朝日蓮一帶(含:領 東線町 老松町 八島迪一里 朝日蓮一帶(含:領 東線町 老松町 八島迪一里 朝日蓮一帶(含:領 · 其/他一般(第二區) - 年前六辞—七時 午前一 - 十七時 (上記以外八給水時間)

大月十三日ヨリ富分ノ間(水量三鈴裕ラ生スル石)明間

午前十一時—十二時

午後五時年

六月十三日 昭和八年

猛力な と述べ近く 會見する筈 **溶松の**左翼分子 一齊に檢學

新味を突付け下車を命ずるご 共に范家屯課員の協力により 共に范家屯課員の協力により ではない。 一個人潛伏しおるを置す では、一個時に范家 では、一個時に范家 高は奇特さされ、観道従耶員 車属動語で、その勇敢なる行 で、その勇敢なる行 五)であるこさ判明した京城内新市場在住齊樹奎(二) 犯人は、河北省塘山生れ、一味五名の逮捕を見たが、 俄然活動を開始し、 艇込み中祭署では十二日午前三時から **險學、現場其組を嚴重警戒し** 松署では、事件を極秘に附し に引致。嚴重取調中だか。濱

大連郊外作業場から と 大研究の質問さして來春の卒 業生孔年生を市内各方前へ廻 が京高等女學校では生徒の郷 なり既に實施中である

導火線十二尺を参見、十二日 物の壺に納めた雷宮三百個。 外土地會社が市外靜ヶ浦に於 外土地會社が市外靜ヶ浦に於 対明しない 大連署に届け出た、電管、導 八線を發見

發展策を協議 最初の理事會開く

体育聯盟

大い体育部限今後の健展策に集に続する件 合計報告並に事業資金募 理事堂に常務委員懇親の 即せる事判明した

行事報告の件

大月二十九日、七月一日、二 成和で上海に遠征するこさに 海丸で上海に遠征するこさに 海丸で上海に遠征するこさに 大月二十九日、七月一日、二 長崎發上海遠征

九日である 東京後六、〇〇ニュース東京東京後六、二〇演藝講演 一後七、二〇ニュース(朝西亜語) 七、一〇ニュース(露 れ、三〇ニュース(南

神報、放送局機能及プログ 神報、放送局機能及プログ 神経、放送局機能及プログ H

大國大鈔 详幣併票 ふの銀銀場 10分割分

東本願寺裏の路

清特最 酒等上 木醬白 炭油米 个 田 電話 語店

創業記念大賣出し中は格別の御引立を蒙 り有難く御禮申上ます本日抽籤の結果左 り有難く御禮申上ます本日抽籤の結果左 1一等 1六二 1二等 1二二、二七四 1二等 1二二、二七四

大八十四郎後 豫而病氣ノ爲メ大阪帝國大學醫學部附屬病院 二於大阪帝國大學醫學部附屬病院 二於大阪帝國大學醫學部附屬病院 二於住田中前六時四十五分 死去致し候條此段御通知申上候也

松機関庫従業員が主であるな過避輪の地下組織が暴路したもので検導されたものは溶 店頭照明呼談會

規派ベルトライン

東原に

高女生の 鄉土研究 り常飾し、真に首都の商店街に應じ、店頭を戦氣照明によない市内各商店は時代の潮流 京によりいぶの超足的進展に

全を議別に投資した、一千 してみぬが。自分は元來一 してみぬが。自分は元來一 も一業主義を奉じて居る。

千萬間の投資をやつて

毎度特別ノ御引立

ニ預リ厚ク御禮申上マス

午後一時より同吐二階に照明化ひ诵電新京支店では十五日起つてゐるので、この要望に 楽照明に関し種々説明する管ンドウ照明、入口照明即ち建 要商店主州席、意見の交換を座談會を照修權賊者及市内主 いひ傾式より店内照明ウー してはずかしからぬ店頭さ

出來たので之を認めてもら

める。自分

湖面の使用櫃を買收し又海電所計畵を建て周匐の土地

育と と

ト御呼ど被下が必ぶ間違フ様ナ事ナク直チニ御

一〇九七番

富士屋タク

は十五年命鏡泊湖に水力競

林から鏡泊湖までの鐵道敷

小包拔取り犯人 使一味檢學 大連稅關小

同と致シマスへデ何卒御用命賜ル樣幾重ニモ御願申上マスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの業績手へ全部日本內地人ニテ關東顧免許證ヲ有スル技術優秀ナル運轉手一數名居リ豊夜兼行ニテモ御願申上マスの弊店ノ內容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの発展工工ので表別の容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの発展工工ので表別の容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの対域を表別の容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの対域を表別の容ヲ次ニ述ペサシテ頂キマスの対域を表別を表別の容ヲ次ニが、まのは、大田ののでは、大田のでは、大田のでは、大田ののでは、大田のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のでは、大田ののでは、田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のののでは、、田ののでは、、田ののでは、田ののでは、田ののでは、、田のののでは、、田ののでは、田のののでは、田のののでは、田のののでは、田のののでは、田のののでは、田のので

樂水富(二八)係銀城(二五) 郷のて來、郵便小包の中を被 郷の食事された大選税調小使 五十七圓を財取つた外前後三包中よりパナマ帽子五十七個を財政の結果去る五月十五日小個での結果去る五月十五日小田のよりパナマ帽子五十七個 山本八十四郎氏は胃癌のため 大阪帝大附屬病院に入院加族 中の腐去る五日午前六時四十 五分死去、因に葬儀は来る十 五日午後四時祝町高野山金剛

同 後 1 OC講演協和會員 新京晚四。HIO演藝

中央放送蜀編輯中央放送蜀編輯中央放送蜀編輯

内藤商會

瓦

販 賣 號

昭和八年六月七二日。 7 電話二〇九 ク

に腹を下ろして、他人事のやたっ

、木の分の心を厳めながら強んで行つ、木の分の心を厳めながら強んで行つ

新京出張所電話四〇人九番章天出張所電話四〇人九番

木材名種

「この漢をはたき落して、 不知に他はの域が配しないの 総然と吸裳をはたき落して、 不知に他はの域が配しないの と自然に鉛縦器の砂弦へ出やすが人に配いて木移りして透げたいら、それについて左へ廻りなのであつた。

自分の苦心の

無数其足元とは何物が開んでゐた。 お婆が明び撃を縁て得れた。

和 話 二七八四番

梅

- 1000 P

曜 水

制引領用期間三ヶ月)
・ 本の所で、一覧の符の作権を関係の符(住在の符のを経済を行う。 一間で、神戸間を船の大連、一間で、神戸間を船の大連、一貫で、神戸間を船の大連、一覧の行うを経済を行う。

ヤメンフーリストピューロネ線を沿線主要各隊及各地タ

女坂新京支店

東五條通

四番

電話二二四四番

東門郎は、組しておへてるるには光一苦勢な道であった。 はかり、お要は木立の間に、伸 仕方なく足割に、注意を搬ひび上つてもう一度明き直した。ながら、1足様に傷つて行つたったがもう影も見えない。そこは その時即長で騒がしい人略が女の事である、慰がるお歌も早した。それは死人を勝受する、特別でんであた。 関が、間道と、つい先の無もじの木が その中を、山社、関がうるさい院のやうに続つた顔は、このなかつた。 「に源、あの下の構造は、このなかつた。」 「に源、あの下の構造は、このなかつた。」 「こうちきだ」 「でのかった。」 「こうちきだ」 「こうちきだ」 「こうちきだ」 「こうちきだ」 「こうちきだ」 「こうちきだ」

大阪商船株式會社大阪商船株式會社

一、木材名種 一、木材名種 一、木材名種 一、木材名種 一、木材名種 一、木材名種 一、木材名種 一、木材名種

· 吉林松花江玉砂利各種

新京日本橋涌六〇山

温温表行

×しあざる丸 六月十八日 ではるびん丸 六月十八日 ではるびん丸 六月十八日 ではるびん丸 六月十八日

金物建築材

大一等船客御飯り、神戸直航 (年前十時大連出版) うすりい丸、六月十五日 ばいかる丸、六月十五日 ばいかる丸、六月十五日

吉

堂

| 大阪商船出帆

世間をで先頭の男、場方の歌: 大たの数されたのか? とさんな数されたのか? とさん

皮さ変さ癸の吉

重荷を負ふて一

とき受い寅か吉

(一)安神散 應利由報恩寺代々の中職型側 (一)安神散 應利由報恩寺代々の中職型側 (一) 七柳病、皮膚病 神經痛リウマチス、眼病、 耳鼻帆喉。白帶下、頭痛、便秘。等一週間分服用すれば必らす効果わり (四) 五月二日より産婆武田姉 を聘し 開業致し (四) 五月二日より産 (製品) 神經痛リウマチス、眼病、 耳鼻帆喉。白帶下、頭痛、便秘。等一週間分服用すれば必らず効果わり (一) 安神散 と間は (一) 安神散 (一) 安神教 (一)



(1)

上海 慾 香 作 村 瀧 火。 闖

the

反辛水引 亥 堪

田

0

洗

一白の人 自盗は登々一家 を堅實に導く農費相談注意 乙・丙 戌・吉 馬感は外れで手

●六百の人 意気消沈して何 辛を戻さ子が吉 辛を戻さ子が吉 效の現けれざる日商談注意 手に附かめ不快なる日

教新發明 黑燒製法

東京市小石川編 特理の友(田旭本の大社では多年研究の

梅雨崎れに日を

(関係) が 東京 二四三九八番 (関係) が 東京 に関りが ある () 三週間分 金 一四二九八番 () 三週間分 金 一四十二 () 三週間分 金 一四十 () 三週間分 () 三週間分 () 三週間分 () 三四三九八番

良白

色

煉瓦

新

販煉 賣瓦 新 營業所

I.

改良

製造

商埠 地西四馬路室町一丁目一七番地

旗、 装飾材料上造花 幕 式製作 Hanonnah 二**商會假營業所** 原三參町四丁目十一 遠 東 公 寓內

京日ノ出町二丁日二番地日州館三階十號室

新京齒科醫院假療養所 正大位助五等 松 田徳

幽ノ治

療ラ始メマシタカラ陸續御來院ラ期

院建築中ニ付)

待シマ

リ始マ

ルト感ジマシテ今般態々東」ヨリ海

日滿人眞ノ融和ハ先が日齒ヨ

拙者へ

外科

一般治療、電氣治療科、

齒列矯正

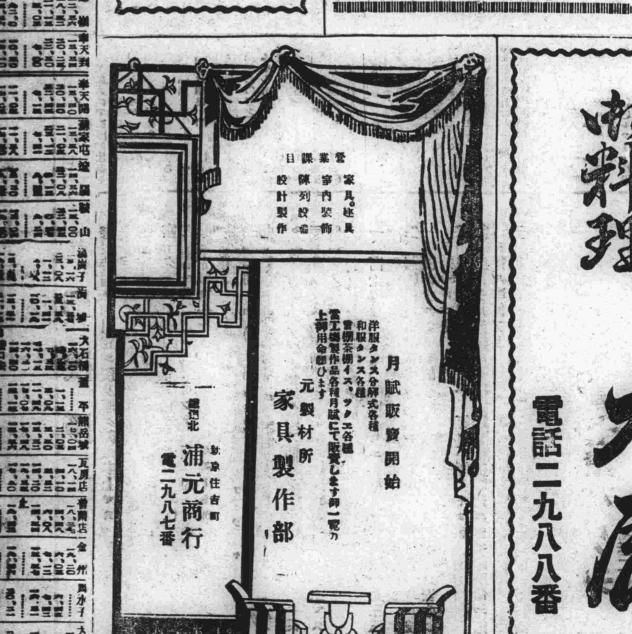
.

口腔

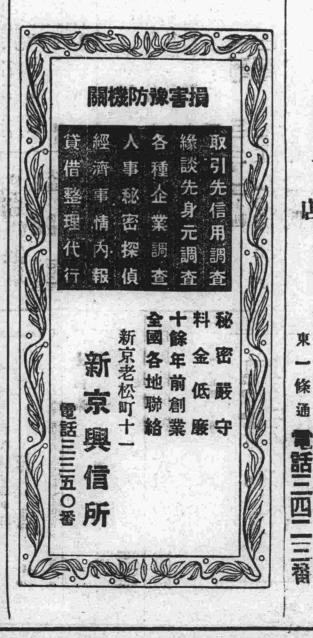
々此ノ

親切 融 三笠町三丁目八番地 確實 預 金 ナ 地場 銀 行

會株社式 新 京 電路 銀 九〇三四番番 行







自 各種自轉車 オート 御 蓄 É

店

は

車

日本トランス 音 器

富錦に

F

はれる様式會談は始めれたが、米支、米日ご順をしてれて米英、米伊ご順

を去つてロンドンに移つた。

こさに依つて與へられるの ここに依つて奥へられるのでのなかをごくめいに追求するによつて何を答さんさしつつ

界の目は今や一齊に英帝意

第日を六月十二日さ决定し、四月二十九日世界經濟會議召

沿岸貿易の發展期待

は至備、晴かに行はれ何れもエリオの場合に在つても曽見

自語に注かれてゐる「最早こ ・職側に開催される世界經濟

(1)アメリカの絶對的金離脱 (四月五日)は確々の政治的 (四月五日)は確々の政治的

マラドナ

府の對英報復關税政策
きなつ

現はれんさする形勢を示し

紅棉黄 獲 新 麻 凝 凝 凝 凝 凝 炎

五五五、三〇〇〇 一九、三〇〇〇 二九、一〇〇〇 二九、十〇〇〇 四、五〇〇〇

量は二十四条後を傳へられて (大阪十三日養國語) 即橋子 (大阪十三日養國語) 即橋子

を前に

日印頭商條約の廢棄に基く

輸入主要品目を示せば左の如

既約の印棉

健派の期待に沿はぬ策等

世界經濟會議

でうなるのか! でうなりつあるか」をして世界経濟合

は此の情勢に直面すること

印貿易

關係

6れたが、機利會席上本下総務がかもる粉製を来たした責務がかもる粉製を来たした責任上解職したいご提請した、こに對しからる狀態で解職す

動意見か出て沙汰上みさなつたが、不安の空気が一沫流れたが、不安の空気が一沫流れ 裁断内容が幹部の意思にはする場合は、島田總務、山口幹 事の群任を見るやも知れぬき 憂慮されてるる

派ながに日縁自八

中一任き決定した旨棚舎した 日本後年でで行委員官を開き、本 日本後一時の自重派全體會語 は成立方針の打合せをなした 一一般老への回答は文書で が、三級老への回答は文書で か、三級老への回答は文書で か、三級老への回答は文書で か、三級老への回答は文書で か、三級老への回答は文書で か。一方象書 を は、一方象書 を は、一方象書 を は、一方象書 を は、一方象書 を は、一方象書

モスクワ歸任か

强硬派幹部の

總辭職憂慮さる

斷內容

廢棄問題と

の動品酸表の失

會の印棉不買さなり或は政の對英關係尖銳化は紡績聯

成は政

に對印報復關税の設立或は甲大連港が自由港だけに今直ち

信錦には、今回廿五萬國を投じて一大 「中頭を開設する事となつた、 右質現の 中頭を開設する事となつた、 右質現の 「中頭を開設する事となった、 右質現の 「中面」として各方面より多大の期 をあるるのとして各方面より多大の期 をが掛けられてゐる

見たのであつた。斯くてこ

たな光候を現はさかは止まれた。 大な光候を現はさかは止まれた。 を書、が指摘してゐるが如く 差迫つた路情勢を国教すべき を強つた路情勢を国教すべき

全のであり 全にして満足な協定判 を本共同磐明にも拘らず

は更に親税、輸入割富制度に至つた、新る一般的危機に更に懸迫的重荷を與へ限定である。

は書徳制等に使って激化しています。 一九三二年迄の間に於て分量に於て約四分の三以下に減じ貿易額は殆んご半分で放棄せられ、金本位制が関係的交換基準さして採得されて以來半時にして始めての情態に立至った。其必然的結果さして失業者は增大

V

ツ

世界 初京回回新 瞿

全甲白米 看 精 米 部

幹部會

は

B

から

本格的

に活動

石井全權の演説注目さ

を進め

央國皇帝 世界經濟會議念々開會さる 聽 臨場の ク首

議場に歸つて登壇午後三時十五分より愈々開會演説を開始した、マツク諸長誠べられ、革皇帝退場されるやマツク議長は滿場の割れるが如き喝采裡に再述べられ、革皇帝退場されるやマツク議長は滿場の割れるが如き喝采裡に再

のひと

演説は三十分間に及び次で會議の幹部會を組織して四時三十七分散會した

他を公平に分配せしめる筈で約りが開を引受けるせ、損害其格のがが戦機さの會合の結果

が、此の原因は政府當局のの生活を水火の中に陥れたの生活を水火の中に陥れたの。

官吏に告げる通令

政友自重急進兩

派夫々會合し

對三長老回

「ハルビン十二日 最越出」東京に於ける北観費却會議参加の 京に於ける北観費却會議参加 の他、外務人民委員育僱東課 の他、外務人民委員育僱東課

答を協議

官下の人民は安心して業に

業を完成せんごする。本軍 人民の痛苦を除き数項の大 人民の痛苦を除き数項の大

業は毫も成績見るべきもの無し之國民職食官汚吏の機能し之國民職食官汚吏の機能し之國民職食官汚吏の機能した。十五元以上の者は三年の懲役。十五元以上の者は三年の懲役。十二十元以上の者は三年の懲役。十二十元以上の者は三年の懲役。

部總長

要者数字は三千萬を集するに至った、新かる事態に之を特徴せしめるここを得ない。以上余が率けた諸関関の背後に更に係めて重要なの背後に更に係めて重要なの背後に更する人有る障碍が除し、新かる事態に之まれるに先立つて先づ此

(北平十二日登載器) 中央側ではた情下人民に告げるものの和平運動にも拘はらず依然の和平運動にも拘はらず依然の和平運動にも持るもので接家口に頑張つて居る。

し、熊賊を劉誠し、民衆を同盟軍馬域は此級點を除去行はれて居ないに依る。本書行相反し政令の一さして

は餓死躁とか彷徨し建設事民司以来政治は紊亂し人民

中央の平和交渉

に應ぜず

「ロンドン十三日夏朝河」經濟を輸出を十五日までに終り、各河の漢記も勢々十五日までに終り、各河の漢記も勢々十五分間に制限の管で幹部會は十六日から經濟會議の本格的事業を開始した。 一日服を除き、毎日英河夏沙時間午後十時半より電けに制限を除き、毎日英河夏沙時間を土曜では米部をは倉閣時間を土曜では米部を務長官ハルの會議では米部を務長官ハルカでであるに決定した。十三日の會議では米部を務長官ハルの會議では米部を持ち、中後三時より同六時では米部を持ち、中後三時より同六時では米部を持ち、中後三時より同六時である。 馮玉祥管下官民に 大々通令を

れるり注目され マ議長十六 が國代表で が國代表で

5

相ユング、日本全権石井の諸 氏が演説する筈である 氏が演説する筈である 日して書いる。 有して居ら石井全権の演説は 長近日本貿易の競争問題。表 個化し、各方面の注意をひく に至ったのに緩み、特に英國 に至ったのに緩み、特に英國

す官価量務の節は選辨違反 月末現在

中央が龍内動を首席に任命 電景により龍柄動を就任せし であるが、此場氏の就任に設 では築哈爾解決辨法に就て を受する事に係般英を屯襲 一方は経崎首席に係般英を屯襲 であるが、此場氏の就任に設 であるが、此場氏の就任に設 であるが、此場氏の就任に設 であるが、此場氏の就任に設 であるが、此場氏の就任に設

「東京十三日最初館」大統省 五月末被債局【電位千圓】 内総債 五大八〇・五二 外級債 二三九〇四〇四 外に大稜群券 1一〇〇〇 米穀諸券 二八五〇〇 京十三日發軔佛〕大藏省 國債高

川して幹部會を組織すべき十六ク詞より一名宛の代表

辨法として

三コス港の「1すりー」丸で 静満したが、船中左の如く語 る

きり申上け来なる。 がは、未だ具体的にはつ がでは、未だ具体的にはつ がでは、未だ具体的にはつ

州日東京で開かれた総會に

航空局官制

商租權登記法等公布

十四日の参議府會議通過

アルゼンチン、支那、チェッコスロバキャ佛、獨、スメキシコ、和蘭、スペインスエーデン、蘇聯、カナダスエーデン、蘇聯、カナダスエーデン、蘇聯、カナダスエーデン、蘇聯、カナダスエーデン、蘇聯、カナダスは直ちに可決された。

北鐵買收交涉 露滿兩國代表者决定

調印には丁總長赴日

以て公布された

早場地方

豫想

二府四縣春繭

國交を結べば

ご の 國民に

も適用

五四二千首、二厘九毛の増加 2000年 1000年 100

二、暫行商租権登記法一、航政局官制

の途が開かれる理で差當り をの思摩に浴ら得る者は日本人であるが、我政府さし では元より日本人に最もす 観の人でに到しては州互の 條件に基きな件につき好点

外務人民委員會 権東部長 クズロフスキー 北崎殿路理事長 クズキッオフ

華僑を中心

日本を盟主に

大亞細亞聯盟結成運動起る

関行の租機登記法は十三日参 時次布されたが右本交員布 2 共に外交部は次の如き意見を

である

日魯漁業配當

より始めて土地商利登記回の数令第四十六號賃託

(4京十三日 8家前) 日磐漁業は年八分据。直さ配 富を決定

日本碼頭

に

汽船を横付にする件

衛州國代表 首酯代表駐日条使 士 交詢部司長 外交部次長

部線長丁の場合は交通交渉成立し調印の場合は交通森田成之

「栗塚十三日麓劒通」 美所着間に依れば抗日の急先師四南派の弗箱たち帯僑を中心に、日本を盟主に大亞洲亞嗣語結構を中心に、即も主勢力は磐海梁民黨員華のも主勢力は磐海梁民黨員華を開始した、彼等の主張は、大戦電時ウイルソンが民族自力を開始した。彼等の主張は、大戦電時ウイルソンが民族自動した。彼等の主張は、大戦電時ウイルソンが民族自動となる。 一歩である。東洋モンロー主 一歩である。東洋モンロー主 の念願

兵廠社長

〔大連十三日發配過〕 奉天造 歸來談

天津居留民會で協議

何に不拘無乎溯行せしめる考問を店支店長い意志では其結果がお協議會の結果如何なる決議

であ

引下運動に 輸入品課稅

天氣さ氣溫

同口印刷所

十三日の氣温紋高二十八度去けるの天氣北西の風像後睛。

在滿川業者、内地であるが、建納以來日命は淺であるが、建納以來日命は淺である事は一般周知の事實であるが、建納以來日命は淺

敦圖線の

開通を機に

空地そのまででは一般要望

満津方面の視察は今や

古長站發。六月二十 | 日新京

折角土地を得 建築は出來の 満鐵で近く
 一齊調査の上で

地は得たがなかく て土地要望の聲は巻に満ち、住宅離 5 將來の聽展を見越し わけで協職地方事務所土地係では昨年七月土地貸下を行って既に議一周年になったのを概會に近く各貸下地について時に議一周年になったのをした。建築の意志又は

建築一資金が手に 一能力 がそのました。 おとのました。 お者に對しては断然取上けこれを一般要望者のために貸下けるこさになった。 右について常島者は語る

が、然し既に一ヶ年も經ででもあったはゆかないのである。「建築材料の暴騰なごの關 新京縣では六月一日より福州 (中ひ、これを徹底せしめる名 待合所に六月一日より福州國 政府で旅券査證事務を開始し たか6外人は各規定の辨事態 で手續きをさられたい旨の注 意書を近く掲示する事さなつ

取り上げ 5

注意書を掲示

ずいぶん斯ろした土地があくない。 貴地調査の結果は

旅券查證

八年度の七年度よりの増加二四、七三二 一七増 七年度の六年度よりの増加 的な増加には一點の外はない とが殊に議職占長吉敦の劃明 をが殊に議職占長吉敦の劃明

百七十六(百七十一戸)の減少

戸)にて之を本年三月現在(八戸)朝鮮人六十七(十六戸)

探金調査

0

を確めたので森島領事を初め 果黒龍江の航行も安全なる事

酸にして附屬地野線並に領事を投げかけてる現狀に鑑み、之が防止機

ので電局でも人事相談別の設定向を有する場合も往々ある意向を有する場合も往々ある。

般松花江を下

り大黒河への航

は言葉語する壁が高くなつて間響祭に人事相談所を設置せ

置は、警察さ氏衆を

書 「中であつた、慶安及常州の は地域に入港した、右船員の 地域頭に入港した、右船員の 部る處に依るさ、途中航行は 路動安全であるさ、又大黒河 附近には良質の木材が出來る ので歸航も無駄でなかつたさ しかし同地方の物資缺乏は事 変で農民は相當苦しんで居る

朝より出發準備に着手し、同各方面この連絡を保も十二日 午後力時に出發目下松花江を りつとある調査際員も頗る

質狀を語る

傳つて以來、續々歸遠して居 の減少は今回の時局によつて 一時外親租界へ移住したもの であるが、停戦協定成立の程 であるが、停戦協定成立の程

十四月)増加に對し支那人八増加の日本人合計自九十(三

日配者関で會見、調査隊の出の出設を見送り十二日帰近の出設を見送り十二日帰近の出意を見送り十二日帰 側よりの委任によって金調査に関する一切は領洲 狀况に付き大裝左の如く語

手し、第二班は同左岸地區を は梧桐河右岸地區の調査に著

び の意氣を見せ必ず何物かを捌 の意氣を見せ必ず何物かを捌

字の如く概略の調査をなすり編成されて居る、概査隊

既査除は

ので日本人約三十名、繭人二

そのねむ氣ざましき入和男子元氣旺盛で匪賊の出没もなり

本た。即ち現在の警察組織の 東た。即ち現在の警察、その は、
を は、
のものものものとのと対し、
では、
のものとのとが、
のものとのとが、
のものとが、
のものと

一次近 すせ且犯罪 カであるさの見解から之が實現方法に関し種々考究を重ね

帶の調査を開始してゐる、概

支那人が減り 日本人は増加した

百九十六月)朝鮮人六百九十一六百六十二(四千七百四十八百九十六月)朝鮮人六百九十一六百六十二(四千九百九十月)西宮に依れば和界内の人口戸敷(四十)(二千九百九十月)西盧鵬査課の六月一日現在の調(八(四月)中國人二萬四千三(天津十二日義國第)天津氏(九(百九十五月)臺灣人二十(天津十二日義國第)天津氏(九(百九十五月)臺灣人二十

内人口戸数の移動は極めて尠るので今回の時島に依る租界

| 世内 記載 | の五十萬国 | 世内 記載 | の五十萬国 | の五十萬国

□田利大1 を開始して 近をそれぐと勝審即隔の でをなれる。 一世のででは、 一世のでは、 一世のでは、

社を設立したい。その詳細に一次の整理に移りその結果の知上の整理に移りその結果の知

活動一を聞いてし

關東軍管下

高女生小學

生觀覽

在留地徵兵檢查

十五日から西廣場校で

六月一日現在天津人口

馬術が

續いて庭球卓球も多い

二球三二二四三二人を主三査

加入一班約百二、三十名

てるない貧陸路を行くか黒龍

さなつてるる

は蒲洲國側の手でなされる事 闘しては未だ競表の時期でな

留地徴兵身体險査は來る十九総県軍統轄下の昭和八年度在

れ、十三日東新京商業學校長件十二日來京議門或各部を訪

日から十九日に亘り新京西廚

れ、十三日東新京商業學校長 の案内で吉林へ向つたが、十 四日は午前十一時執政に謁見 各機関を訪問し、十五日午前

台区科理

の七里班は大黒河附近で、

るるが最後

一調査

ゴルフ八一、レスリング

を十四日午後七時に、兒童

ム、女子陸上競技テー 観より女子パレーボー

公谷一

六時までで其受險者區域は左 留受險者から始められるが毎 日午前七時三十一分から午後

さしてそれに少数の倫州人

球三、陸上競技八、水上競技一、 一、 硬四五、 準砂一四、 野球一〇、 スポンジ五二、 室内野田一、 変足六六、 庭球軟一〇

起安巡映は十四日午前十時 および同日午後一時に、い づれる室町小県校課堂で行 はれる

した尚参加テームの豫選大會の工正式に参加の旨譜知を發展が著書の名を以

一、十五日より十七日まで町

等を訪問十三日は吉林往復。教授は文教部、民政部警務司

吉寶氏女兒順子さん六 3 出 を新京室町。丁目四番地長技 を動京室町。丁目四番地長技

一段定である

京署管內在留受險者

日本女子オリ ムピックに

> 体育種目調査

今後の希望

の人洲満

社銀行員その他主さして一般に講洲滅官史。學校職員、會に講洲滅官史。學校職員、會に講洲滅官史。學校職員、會 **枯果は極めて興味あるものが** 九十八名の多数に上り、その 俸給者を相手に体質種目調査 一般民衆の總慧に基づくスポ 一、短艇七九、ラクビーニ六、四五、登山一四〇、帰儺法四四、帰儺法四 五五、武技一八、体操一三七五五、武技一八、体操一二十、角五八八、体操一三十、角五八八、体操一三十、角五 既に經驗せるもの

四二、短艇四一、ラグビー三一、短球三〇、籃球二〇、排球五九、卓球一〇三。馬術一七五八、弓道六一、角カー六、武技一七、体操二一、拳闘一七、狩鰧五七の魚九五、登山七三、張健生

は馬術は断然第一位を占め延さが制明した

水る八月開催される日本女子

出場後日本各地の女子教育狀 説。文化施設を見尋する事さなつてゐる

第三十八日四年街公平 協州等 新京總領事館、鄭家屯領事 新京總領事館、鄭家屯領事 を書管内吉林線領事館管内 の一部

さなつている

各種印刷を製本 印刷機械及材料

即小賣 北原紙店

電話一三世四四九

間道収商業學校長の案内で執

いふので今後の希望さして

、滑氷競技五四

大運動會

實現として

は既帰の四く布谷助教授とは明明の四く布谷助教授とは

ハルピン十二日後最かり 航行は安全

教授來京動靜 尚村山口高商

大黑川への

人事相談所を設置せよ

在留民に要望の聲

民衆警察の

々進む

に豫行演習

の視察

探勝

□□□ 1二九九 六七增 降 客 七年度の六年度よりの減少 八年度の七年度よりの増加五五。五九六 二二減 七年度の六年度よりの増加 めるものがら取象ぎ着手する他をも併せて考慮し、可能性 であるので今後豫算闘係その ッに對す。動向を知るに充分 一般演人方面のスポ ゴルフ二七、レスリング九。

(二)泊)-鐵原-京坡(一泊)-翻門-南陽-維基(一泊)-新原-吉林-敦化(一泊)-

一、行程

ビユー

ローで旅行團募集

砂二二、準砂一四、野球六五 遠足二二九、庭球、軟九九。 水泳一四八、体育ダンメニー

市營住宅百五十戶

さいよく 近づいて來たので建總記念第二回新京大運動會 準備着 十六日

家庭航安巡映。來る十六日 が消化に調しては 端嶽景氣に憧れ漠然さ入頃す

けふ彩票抽籤

幸運は一体誰に!

服

な

エスヤ

服

店

電話二六一九番 新京吉野町二丁目 6

きつとお氣に召します

| 弊店へ……生地……裁斷…

"仕立

地域の三ケ所で、日本人向五 では一兩日中より社會科にが 動市政公署に於て計畫中の市 である。同住宅の家賃は日本 繁正宅は念々近日中に工事に 人向、演人向何れも甲(六十 大向、演人向何れも甲(六十 ・一規)丁(二十三圓)の四十 ・一規)丁(二十三圓)の四十 ・一規)丁(二十三圓)の四十 ・一規)丁(二十三圓)の四十 ・一人向、演人向何れも甲(六十 ・一人向、演人向何れも甲(六十 ・一人向、演人向何れも甲(六十 ・一人の、演人の何れも甲(六十 ・一人の、演人の何れも甲(六十 ・一人の、演人の何れも甲(六十 ・一人の、演人の何れも甲(六十 ・一人の、演人の何れも甲(六十 ・一人の、演人の何れも甲(六十 ・一人のという。 愈々工事に着手 ママトホテルで、これが打合 ではこれが準備に目の廻る忙 しるで、十三日午後七時か6 县·黑田园支部幹事長 悲ん離

しみか喜びか問題の頭彩は何處に行く?でるたが、いよく〈今8振られる運命のテイコロは果してさず時折眺めては雲を掴む様な好運を論 想して一人ほほ笑子四日は待ちに待つた彩架の開票日だ。猫の 子の様に肌身

動會の事務は左の順序で萬全 を明するこさになった へ一三日体系表をい

配者招待。花火準備報告、會 全員で、午後六時より新聞 全員で、午後六時より新聞 **◆一五日午後一時級務院實行** 時運動會發 一通四日去

七千三

苑めつくある。二十世紀の龍廠州へ新京へご世界の硯籠を

兄嶺洲へ、視察に、旅行に、見鬼めつくある。二十世紀の龍

加旅行者に神益する所多大されば磯徹並に吉長吉敦磯路局

數字が示す

各線の乘降客

いづれも増加の一途

八年度の七年度よりの増加

さくなつた

一。待遇 汽車二等

六月十八日

七年度の六年度よりの増加

新京驛タヤバ

三八。四回 三四

八年度の七年度よりの増加

中五戸、議人向百戸の計百五 地横の三ケ所で、日本人向五 東三馬路、新段市街外交部敷

て申込を受ける事されつた

一十七十五六十分 五六增

滿洲殖產與業銀行

想よー

月設立

一切を含む)

五。○四九 六減

霧臺科、宿泊料、食事費、

八年度の七年度よりの減少二二、三四五 二五増

旅行團募集人員二十名

十八日吉長站歸還

その他全行程に要する費用

十 五 百

異常な發展を綴けてゐるが、各方面よりの來講、來京者に

七九、六二七 八九%

明十五日は

中央銀行創立記念日

であるが、殖産興業銀行の設立時別は十月頃ご駅測される同銀行は資本金及び積立金の十五倍以内の與業債券を發行、備洲の中央不動産銀行さして活躍を発行さして活躍を発行。

八年度の七年度よりの増加

は目下財政部に於て進められ

草を完了、近く部内の審誦終

資本金は

千萬圓

一八六、七一〇 五三章

二五五、三九四 五五崎 二五五、三九四 五五崎 八年度の七年度よりの増加 %

を選す山である が本句各談でもそれら\記念運動會職勞會等なったが本句各談でもそれら\記念運動會職勞會等なったが本句各談でもそれら\記念運動會職勞會等

客

七年度に於ける六年度より

募する管である 一般よりも公 告書作成 行記合會 午後三時實行委員進 午後一時準備狀况料

西公園を城内に

ラジオ設置

類代劇政府では今回西公園 関するここになった 尚は水る十七日は建る大運動 は運動質情 **薫慰安巡映は都合により**豫定 既称論職の家庭慰安および見 豫定を變更

他人生

艺元显元 量

一五〇名

況を特に放送する智

少年團員の

時計正誤調べ 甚しいのは一時間牛も遅延

を實施せる結果別紙の如き数計を示しながら時計正誤調査・協力を引きませる。 五機 合其婦母 (1) 日本 時の記念日の收穫 てゐる時計の所持者が七石かれてゐる者があつた又停止し 時間半のおくれた 者 或は一字が表れた命。不正確なもの つた 字が表れた尚。不正

日四十 충

暴君ネ

アツ遂に來た 暴君ネロ

口

セシルB デミル……大監督 本邦封切以來記集的績映をなせる パラマウント社全力傾注せら空」のオールトーキー 巨匠… (十四日より)

近代斯界の最高峯撮影費八千萬圓……二塲人員七千余人 暴君ネロの公開こそ正に新京映畵界劃場 的大壯學で云はねばならぬ!

小學率大觀 大連常盤座 別來演

パラマウントを計提供

よび開子を安心とて買べる店

映書 兄さんのお馬鹿さん 松竹蒲田特作パートトーキー

田中絹代 竹内良一

98

生きる手が出來た

つ子のひ

の白が生きるやうな結果になりが出來たばかりに、上邊數

10pt

頭巾

館外閱覽人員

への輸送が著しく減少して 提。即6役來旺盛だつた浦 北満大豆出廻り概况 **本年は更に豊作予想** 部市成四 今計 八七六 雜誌五四 今計 八七六 閱覽册數

二则自

加を見る可く、豫想されて居 り、同時に浦镰六七十萬キロ ・ンは半減ご見られて居る 本八年度の大豆蒔付は既に 完了し、一齊に新芽を出して 加を見る可く、豫想されて居 の並に藩海沿線出廻高約十五 の並に藩海沿線出廻高約十五 の並に藩海沿線出廻高約十五 の並に藩海沿線出廻高約十五 九八 二、二四五 館外九

行催かに十五萬三千キロトンに対し、七年は下半期は東

原想は下されない のは想は下されない のは想は下されない。 は想は下されない。 は想は下されない。 は想は下されない。 はのは、 戯曲九〇八兄童四六四、文學的多く讀まれた部門は小說、如を表はして居る。なほ比較 二大、人員館四六〇、館外三 は上の如くで一日年均数を示すさ五月中は開館日歌二十六 一、前年同月

八、法制經濟社會統 安東だより 安東の 念日

時の 記

木

口

日」當日は豫定のブランによ〔安東發〕十日の「時の記念 卸小賣 當日は豫定のブラ

三三年度の超特作大ローマーマウント社が全力を傾注し

の最虐史「終君チロ」を

行さしてオールトーキーパラ長春座は十四丘の雨夜特別興

萬七十は

四平街より

光 計 記 記 つ。

四平街圖書館

遼だより

奥野氏が

はない。この映画は本部封切以來空前絶後の記録の稿がすばらしく以價であり又 職がすばらしく以價であり又 である派へる

きをねらつて、信者の一人を 対致し去り、拷問にかけて、 教徒等の集會所をつき止めた マーカスはその事を耳にする さ、マーシャを救ひ出さんさ 急ぎ戦車を闘つたが、來合せ たボッパーのかごさ正面衝突 たボッパーのかごさ正面衝突 して了つた。彼が今何っへ出 かけるのかを見抜いだボッパー は烈火の如くに怒り、直ぐ さまマーシャご手を切れさ詰 つに。そこでマーカスは自ら

庭園を解放

電 版本洋行 本橋七五

鹿があり入場科大人一圓中絹代竹内良一の兄さん

「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線 「四平街支局後」四平街端線

票の多さに遠し市民の時の御 整賞で一般市民から投票で募 整賞で一般市民から投票で募 のたが、投票数三千五百卅二 のたが、投票数三千五百卅二

アパーパス…フレドリフーデシル氏配役はマーカ

の那下の講賞をも容れ、心な の那下の講賞をも容れ、心な

(建定数) 事變以來黃邊の部 東禁鴻遠日指して來た 視察者 來住者は日に日に增加し現在 の邦人數は三百名を越へる、 就態であるが、邦人の大衆的 機關なく民會、講職公所等で 在住邦人の慰安力法を考案中

な で、若しも出のがに発すが趣 で、若しも出のがに発すがで、 古 | □ ス + 二 | 温 | □ ス + 二 | 温 | □ ス + 二 | 温 | □ ス + 二 | 温 | □ ス + 元 | と かった | 一 ス + 元 | と かった | 上 の は | □ ス + 元 | と かった | 上 の は | □ ス + 元 | と かった | 上 の は | □ ス + 元 | と かった | 上 の は | □ ス + 元 | と かった | 上 の は | □ ス + 元 | と かった | 上 の は | □ ス + 元 | と が 極 000梗

> 汎く同人を ナミ」の旗上げ

> > の武散策の御疲勞に…

コスト」の御食事……

せ彼母を引き離さんいしたう夜叉の如く。チロを説き

つた事を知るさポッパーは全にマーシャに喰ひ込んで 全にマーシャに喰ひ込んで

了完被

神はすでに地上から消え。 ネロ王の支配する、懸逆機り なきローマ王朝時代――ロー であれたると外に包まれ、それをみつめ乍ら、暴君 中の街は炎々たる怪火に包まれ、それをみつめ乍ら、暴君 すって彼の眼壁が伴奏 ひき。狂つた彼の唄壁が伴奏 でを破壊したり、いろいろ附帯でも若い男女が相互の自作品するが、純真な女藝を愛って居るが、純真な女藝を愛って居るが、純真な女藝を愛って居るが、純真な女藝を愛っている。 新しくが態愛好者の親交機器 募る

114

ス

0

喫

紅

L

ぜ

ジャムトースパン

茶

飯

迅

江戸前のおしるこ

朝日堂喫茶店

前

とぶふの こ居れば一地無事だつたが、幼一六二と に、前を生かして (ろ) と聞いの十六二と に、前を生かして (ろ) と聞いの

のである。

それから、無(ろ)

と開いて

と粘いだ時分に黒(い)提つれば、黒(に)とわへ、的(ほ

劫に行くのであるから自はへ

で 1□八十六』と変換して聞く

黒(に)と約へ、白(は)と提ればと二目を粘ぎ白(は)と提れば

碁

新手合

(二局の主)

いかなければ大劫にはならわっ

右の手順の中、

的(い)と

ある。

こうが一寸が明を要する所で

を生かして、黙(ろ)と聞く歌では、何らすれば良いか?

十五』と響て、黒 □七十二

二手の寄せ劫

と観を持つて生きる手が出來

来では、かは疑問であるが、基の形態がは疑問であるが、基の形態がはないでは、取りに行かれば、ならぬかも知れぬ。

よりも人目を惹いたのは彼るは、事に依り、タイタス・ファヴ罪に依り、タイタス・ファヴ 荒木政子方締切は六月末日照これが申込は東京銀座五の夢 さいふのである 人規定を送るさ

ここ十九」と粘けば由(と)と粘いで懸の技術を攻めても、黒(に)由(く)黒、口の上十九」と粘ぎ、白(ら)黒、口の上十九」と粘けば由(と)と粘いてあに行かずに

かくこ知るや、チロの妖蛇が教徒等の縛を解いてやつた。 年の的である業男のマーカス た。時の奉行であり、女性崇 た。時の奉行であり、女性崇

した十」と粘けば白(と)と粘りに行かればたられから、一手がら嫌られる形になる。 はは二手(数の容を施でも、悪のなんを取った例に、特徴劇れのながらから、黒からも容易な事になる。 ままま からから、黒からも容易な事になる。 ままま では収りに行かれぬやうである

(E)

野隆一氏は同厳内の一声峰中 二十夕所に黙慰し砂塵を脱雪 二十夕所に黙慰し砂塵を脱雪 水る様に不日開放さるる由で 来る様に不日開放さるる由で 中川良長男

「通遼食」 議州副親祭中の中 大田郷 線にて午後六時三十分通遼者直ちに通遼ホテルに 投じたが、日程は約一週間に で茂林廟、銭家店、大林其他 を視察離遼の豫定である 通遼へ

羅馬の大慘虐史 暴置君

品在時計後藤叉彦。二等申奉 曾のるさに抽鲅を『ひ一等賞 三分を云ひ的たもの百九十五名に上つたので十一日午前十 計)を授興した

東番に豫告を殺した、此の特 を指除け他を設置すべしこ同 を指除け他を設置すべしこ同

体狀に富む上、住宅に美觀を薔薇は地中の水分を吸收する

株珍奇な大師は廻轉式で園内中央に据え付けて空氣を放出 中央に据え付けて空氣を放出 で氣の帰弱は放出距離の遠近 でなって調節出來る仕組みさ

謹

啓

日本橋進了一金融、学

海の外から さ謂ふのが彼等のねらい所であるう 日薔薇で一學兩得温明は非保健的さあつて中産階級以上の米人家庭では宅地階級以上の米人家庭では宅地では宅地では一次の大人家庭では宅地で、

ぜし巨彈 見よ高らかに叫ぶ我等が躍進振を萬人均等しく渇望の的 立ちし大長洋行が一九三三年劈頭に投無批判の道を行く同業界に沈默を破て 大長洋行製靴部

= 市內要保證人二名

大經路第三市塲二十號

所在駐祉會式株業實省東

通僑本日京新 (番八三一三)(番五八五二話電)

ć なぎ蒲焼

すし竹食堂 ŀ 井

・ お待ちかねの お待ちかねの かは焼ごんぶり かは焼ごんぶり

富士タクシーが

朝日タクシ

倍舊の御引立を願ひます 改名致し ŧ

*電話二二九五番

備通電話二七二四番

御用の節は是非

司公車動 自日朝

12

三町士富京新

情を辱ふし深謝感銘罷在候 院小兒科醫長として四年有餘在任中は公私共格別の御懇 青葉の候尊堂念々御清勝の段奉賀候陳者不肖新京協、鐵路

兒相談に應ずる事に相成候に就ては倍舊の御援助と御指 導を賜り度希上候右簡畧ながら御禮旁々御挨拶申上候 今般左記の所に獨立開業從前通り專ら小兒の診療一般育 新京千鳥町ニノ

倉

電話二五八一番

引立に添ひます

の生一本

た本場仕込の板場が腕に覺への料理に酒は灘 三部屋ブツ通しの大部屋の改築も出來上りまし 青葉薫る爽 城内大馬路に輝くネオンサインの 軒燈は一樂でございます 今宵は先づ P かさ

柏車をかけての美人のサービスを以て皆様の御 今宵の、行樂は一樂へ 城內大馬路 電話三七三〇番

アイスクリーム製造機

五秒デ出來ル

洋

行

泰

。サイダー等如何ナル飲料水ニテモ五秒デ凍レ

發賣所 京

北滿總代理店 洋 行 和

金

硝子入並ニ塗装工事請負

0

支店

城

店

事をついた。 名館長父子の前に膝をつき、間が でいた。 第八十三回 これ、私はカチウドと申します』

柾

(四)

ヤ川日膠セ東 加藤洋行等 7. 洋服地並附屬品卸 コエ式劑

炭石

確

塗

電話 三五三七番 三五三七番 茂

口齒 腔外科 上午5、日曜祭日休龄) 一條 通一條 通

三笠 町二丁目 曾我廼家 電話二五八八番

▲今般左記ノ通リ支部ラ門設致シマシタ 新京中央通リニヤー番地(新京郵便局前) ・新京・中央通リニヤー番地(新京郵便局前) ・海融の有無ラ問ハズ、經驗者へ指導スート、経験有無ラ問ハズ、経験者へ指導スート、機麼書持参来社アンマニュー・場合 ・対京、交部長・小林邦男 ・対京支部長・小林邦男

日本橋

詰

新京ビ

二階一號室

口齒

村田醫

科本

田

雨傘と 二宅提灯店 即用命 日食

第次話電湖小=者心初

スマシ致上参上導指御

Ш

防

水

7

こまれり

石 炭 電和音音 th/行

一學に殲滅

抽虫、羽虫等に

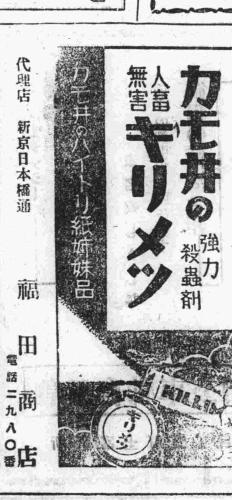
去術表製

洋 新 H 荷 百貨店 着 金泰洋行 振替大連三四三番 傘

小口齒 兒腔科 齒外-科科般 安谷一 醫院 院 安谷勇次

朝內支本

衛水煖



五條通四番地 新京支

漢洲河幣助定ヲモ取敗仕族 「大連、旅順、愛口、遊陽、犂デ、奉天新市街、磁樹、開扉、四半街、安東縣、哈爾覧、停家何、錦州、齊 全留 大郎、四半街、安東縣、哈爾覧、停家何、錦州、齊 全留 大郎 大連、旅順、愛口、遊陽、犂デ、奉天新市街、磁樹、開扉、四半街、安東縣、哈爾覧、停家何、錦州、齊 全宮 三二二六番 安東縣、哈爾覧、停家何、錦州、齊 全留 三二二六番 安東縣、哈爾覧、停家何、錦州、齊 全官 三二二六番 安東縣、哈爾覧、停家何、錦州、齊 全官 三二二六番 安東縣 小衛直 三六一六省 鲜。篆山,大邱。仁唐,平壤。鏡南浦。元山。群山,木浦。清泽,曾等地。東京,大阪。大阪西屬。神戸、下殿店,出援所店。出援所